担当講師	概　　要	日　時
大谷　修司 	**自然から学ぶ：秋から冬の身近な植物を観察しよう** 毎回野外に出て植物を肉眼だけでなくルーペや実体顕微鏡を用いて精緻なつくりを観察しましょう。春から夏は花も多く植物に目がいきますが、秋から冬に実施される第２学期も様々な植物の姿を観察できます。秋から冬に花が咲く樹木があり、どんぐりなどの果実ができ、寒い冬をこすために落葉など冬支度を始めます。どんぐりの成る樹木を探したり、冬芽の断面を作成したり、普段と違う角度から植物観察を実施しましょう。皆さんには植物の特徴をメモしたり花や葉をスケッチしてカードを作成しファイルとして持ち帰っていただきます。※ゼミ参加日の前日までに学生教育研究災害傷害保険への加入が必要です。(保険期間６年/100 円)	◆10：30～12：00 10/21(水)、11/4(水) 12/2(水)、1/6(水) 2/3(水)、3/3(水) 【定員：10 名】
千代章一郎 	**建築の歴史：西洋の建築を中心に** 現代の建築は、どんな斬新な建物であっても、長い時間をかけて築かれた歴史的な蓄積に基づいてつくられています。そんな建築の歴史を少しずつ学びながら、日本に限らず世界の素晴らしい建築の歴史の世界を味わってみたいと思います。それは人間の技術について学ぶこと、人間の社会について学ぶこと、そして人間自身について学ぶことと深くつながっています。第２学期のゼミでは、とりわけ西洋の建築の歴史について幅広く学びます。	◆9：30～11：00 ~~10/30(金)~~→10/29（木）、11/13(金)、 12/4(金)、1/8(金) 2/5(金)、3/5(金) 【定員：10 名】
武田　信明 	**小説を読む楽しみ―大江健三郎** 今期は、大江健三郎「芽むしり仔撃ち」(新潮文庫）をテキストにして、皆さんとじっくり読み進めていきます。大江健三郎は、戦後の日本文学を代表する作家であり、ノーベル文学賞受賞作家でもあります。このように書くと難解なイメージをお持ちになるかもしれませんが、本作は戦時中に疎開先の山奥の村に取り残された子ども達を主人公にした物語であり、波乱に富む面白く読みやすいものです。まずは各自が自由に読むことから始めます。各自の素朴な感想が出発点です。そして、小説には「読み方」のポイント（方法）がありますので、それらを提示します。参考にしながら、いろいろな観点から深く読んでみましょう。 意見交換の他、簡単な発表（レジュメ）もしていただきます。	◆13：30～15：00 10/22(木)、11/19(木) 12/17(木)、1/28(木) 2/18(木)、3/18(木) 【定員：10 名】
田中　芳文 	**エド・マクベイン『キングの身代金』で学ぶ英語** エド・マクベイン（Ed McBain）の原作 ***King's Ransom*** の翻訳書『**キングの身代金**』を参考にしながら、リトールド版の英語テキストを読むことで、（アメリカ）英語の熟語、構文、文法や文化的背景などについて学びます。 受講生には、気になった英語表現などについて各自で調べ、その内容を簡単に発表してもらいます。テキストは、**堂場瞬一（訳）『キングの身代金〔新訳版〕』（ハヤカワ文庫）**を使用します。各自でご用意ください（旧版の井上一夫（訳）でも可）。また、英和辞典を必ず持参してください（電子辞書ではなく、紙の辞書が望ましいです）。英文教材はこちらで準備します。	◆10：30～12：00 （※10/28、1/27 は 13：30～15：00） 10/28(水)、11/18(水) 12/16(水)、1/27(水) 2/17(水)、3/17(水) 【定員：10 名】
村瀬　俊樹 	**実験・調査を通して知る心の仕組み** 発達心理学・社会心理学・文化心理学に関する基礎的な内容について、教員からの話題提供、および、参加者からの発表をもとに学んでいきます。参加者の方には、これらの領域の入門書を数冊紹介しますので、その中から、関心のある本の１章程度を選んで期間中に１回発表（15 分程度）をしていただきます。紹介した入門書以外でも、教員の守備範囲とマッチする場合は、それについて発表していただいてもかまいません。見えない心を実験や調査で客観的に見ることができるものとして取り出し、多くの人に実験や調査に参加してもらい、その結果から一般的な傾向としての心の仕組みを探る心理学の世界を、ご一緒に味わっていければと思っています。	◆10：30～12：00 10/28(水)、11/25(水) 12/23(水)、1/27(水) 2/24(水)、3/24(水) 【定員：10 名】
山崎　泰孝 	**ドイツ文学の作品を読む** このゼミでは翻訳を用いてドイツ文学の作品を読んでいきたいと思います。取り上げるのは『変身』や『城』などで有名なフランツ・カフカの短編作品です。テキストとして使用するのは、第１学期と同じ岩波文庫の池内紀編『カフカ寓話集』です（テキストは各自での準備をお願いします）。 ゼミのなかでは、皆でカフカの短編を細かく読んでいきます。その際、作者に関する伝記的知識や、作品の注目ポイント、先行研究における解釈例などを紹介します。それらを踏まえて、各自がいだく疑問点や解釈などをいっしょに議論できればと考えています。	◆10：30～12：00 10/23(金)、11/27(金) 12/25(金)、1/29(金) 2/26(金)、3/26(金) 【定員：10 名】